

～富士宮の湧水を訪ねて～ 2004年「水」の勉強会

11月7日(日)、2004年の「水」の勉強会として、富士宮へのバス視察を行いました。

好評だった昨年の「湧水わくわくバスツアー」に続き企画・実施した今回の水の勉強会には、小学校2年生から70代まで、会の内外から、幅広い年代の方々25名が参加しました。

当日は、市民と企業の協働によるビオトープづくりの取り組みや白糸の滝、湧玉池などの富士宮の代表的な湧水を視察し、「湧水の恵み」を実感する有意義な1日となりました。



△富士宮ビオトープをつくろう会の深澤会長の説明を聞く参加者

最初の視察地は、富士宮駅南のイオン・ショッピングセンター駐車場内にあるビオトープです。「富士宮ビオトープをつくろう会」の深澤竜介会長とメンバーの皆さんにご案内いただきました。

市民と企業の協働により計画・整備されたこのビオトープには、市民の努力によって、多種多様な植物が育ち、トンボをはじめとして多くの生物が見られるようになっています。

子供たちや市民が参加してのメダカの放流や田んぼ作りなどの取り組みが継続的に行われており、現在はホテルの復活を目指してまずはエサとなるカワニナの生育に取り組んで

いるとのことでした。

ビオトープをつくろう会では、市民の手で街中の目立つ場所にビオトープを作ることによって、市内にビオトープを増やし、自然のコリドーとなることを期待しているそうです。

「富士宮ビオトープをつくろう会」の皆さんと、今後の相互交流を約束して別れた後、富士宮ボランティアガイドの皆さんのご案内で、2006年に御鎮座1200年を迎える富士山本宮浅間大社、湧玉池を見学しました。

この秋は、湧水の異常増水のため、富士宮市では警戒宣言まで出たそうで、清澄な池の水が溢れんばかりの湧玉他に、参加者からは「まるで、40数年前の楽寿園小浜池を見ているようだ」との声があがりました。

浅間大社の門前で「富士宮やきそば」の昼食をとり、午後は、古富士泥流と新富士火山の溶岩の地層の境界から湧水が噴出する白糸の滝に向かいました。

白糸の滝とその隣の音止めの滝は水量が多く圧巻でしたが、特に印象的だったのは、白糸の滝の近くにある「おびん水」でした。ここは、頼朝にまつわる伝説の地とも富士講の聖地ともいわれる湧水池とのことですが、こちらを訪れる人の姿はなく、静かで神秘的な雰囲気でした。



△子供たちも真剣な表情

今回、参加した小学生からは、「バスツアーに参加したのも初めてだったし、富士宮の湧水を見たのも初めてだった。わき水が、“わきていているぞ～！”っていう感じがしておもしろかった。白糸の滝は姿がかっこよかった。楽しかったので、また行ってみたい」という感想が寄せられました。

今回の水の勉強会は、大人だけでなく、子供にとっても、富士山からの湧水や自然への関心が深める、良い体験となったようです。



△浅間さん・水屋神社の水くみ場

●イオン富士宮ショッピングセンター
ビオトープ概要
面積：1,700㎡
水源：身延線近くの自噴地
設置：イオン(株)
管理：富士宮ビオトープをつくろう会



△ビオトープの湧水(およそ13℃)

子どもたちの 「水」の学習

市立德倉小 4年生たちの ホタル学習

平成16年6月28日(月)、三島市立德倉小学校4年生2クラス・60名が、塚田会長宅を訪れ、ホタルの学習をしました。

志村肇顧問と塚田会長よりパネルを見ながらホタルの一生の話を聞き、ホタルが生育できる環境を作るには、ひとりひとりがどのようなことをすればよいのかを考えてもらいました。

塚田会長宅のホタル飼育施設をはじめ、天水尊、水琴窟、井戸ポンプなどの水の施設を見たり触れたり体験して、水に関心を持ってくれたことと思います。

また、8月30日(月)、31日(火)には



△ホタルの説明をする塚田会長



△湧水が溢れたこの夏の源兵衛川

三島市立西小学校の生徒が4名、三島市立山田小学校の生徒が1名、塚田会長宅を訪れ、夏休みの宿題としてホタルについて学習しました。

富士宮市立第二中学校 より、調べ学習

去る10月29日に、富士宮市立第二中学校(深澤憲校長)の1年生5人が、「富士山学習」の一環として、調べ学習(調査活動)や体験学習のために三島を訪れました。

案内説明を依頼されていた三島ゆうすい会では、JR三島駅で、土橋力也さんをリーダーとする生徒だけのグループ5人に会い、楽寿園から順に案内説明をしました。

前半を大村洋子理事、後半を小松幸子副会長が対応しました。男子3人(土橋力也、小澤堅斗、高木一哉)女子2人(谷村秋恵、石橋知加)でしたが、今年、特別に湧水量の多い市内の水辺の至る所で、歓声をあげ、裸足になって歩いた源兵衛川では、「ずっと、こうしていきたいくらい」と、富士山からの湧水のめぐみに感じ入っていました。

生徒だけの学習でも、学ぶ態度や、マナーは素晴らしく、調べ学習の成果を期待してしまいます。質問もし、とても模範的な生徒さんたちでした。



△富士宮第二中学の5人の生徒さんたちと、塚田冷子会長、大村洋子理事

市立山田中 1年生たちの ホタルの学習

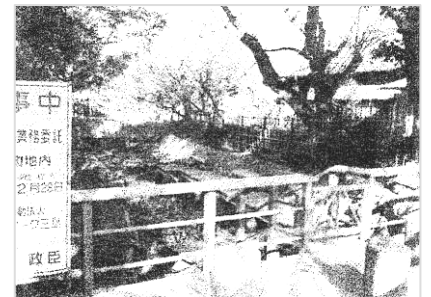
平成16年12月2日(木)、三島市立山田中学校の1年生4名(秋山和紀、杉本真里美、中山朋美、杉本彩乃)が塚田会長宅を訪れホタルの学習をしました。

前半は、楽寿園で三島溶岩流や小浜池(当日は水位165cm)、3つの瀬を見学し、大村理事から説明を受けました。

塚田会長の飼育しているホタルは体長が1~2cmに成長し、パネルと実物を見比べたり、源兵衛川でのホタルの自然発生の話などを聞きました。

当日は、三島市のせせらぎ事業として行われているホタルの里づくりを広川建設の皆さんがされていました。

来春のホタル祭りでは源兵衛川やホタルの里でホタルが飛び交うのを期待しながら家路につきました。



△ただいま建設中の「宮さんの川・ホタルの里」

「身近な水環境の 全国一斉調査」

平成16年6月、国土交通省が全国の市民団体と連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」が行われました。

本会では、この調査活動に参加する市6月6日(土)に市内河川の水質検査を行いました。当日は、前日から続く生憎の雨でしたが、参加したメンバーは2班に分かれて、大場川、源兵衛川などの調査地点を回り、統一マニュアルに従い、COD、水温などを調べました。

今回の調査には、全国で540団体、4,015人が参加し、調査した河川数は806に上ったそうです(「全国水環境マップ実行委員会」による速報値)。

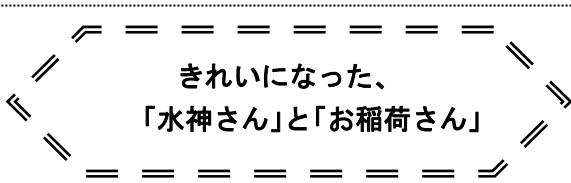
これらの水質調査結果は、全国の水環境情報を示した「水環境マップ」の作成による情報共有や、GIS(地理情報システム)との重ね合わせによるデータベース化などが予定されており、今後、身近な河川の水環境に関する市民の理解と関心の深まりが期待できそうです。

「小さな親切運動」清掃

平成16年5月16日(日)、静岡銀行はじめ多くの企業の皆さんと共に小さな親切運動に参加しました。

源兵衛川に台風被害

10月9日に伊豆地方を襲った台風22号は、伊東市に大きな被害をもたらしましたが、三島市では人的被害はなかったようで、物的被害では、本町商店街のアーケードや家屋の看板等が落下する程度でした。源兵衛川では、水の苑緑地のかわせみ橋たもとにあった樹木が、高さ1メートルほどのところで折れてしまい、倒れた幹が素敵なガ



きれいになった、
「水神さん」と「お稲荷さん」

「水の都・三島」には、大切な水神さんが市内各所にあり、昔から、水に対する感謝と畏敬の念が込められてきました。

このたび、その中のいくつかが、台風などで傷んでしまい、「これじゃ、水神さんにすまないね」と声があがり、白滝公園内の竜神さんを三島ゆうすい会で修復しました。



●白滝公園内の真新しい竜神さん
(2003年10月修復)

塚田冷子会長、岩田重理理事、中西康徳理事は、街なかのゴミ拾いをし白滝公園の清掃を行いました。

小さな親切運動は、回を追うごとに参加する企業が増え年々盛んになってきています。

企業で働く人々も環境問題に関心を持ち、自分の住む街がきれいになることに汗を流すことは素晴らしいことだと思います。

三島市内には、白滝公園の他にも、三島梅花藻の里、浅間神社、三嶋大社、徳倉、小沢などに水神さんがいます。

また、今年、本会では、「河合家」内に祀られているお稲荷さんの修復も行いました。水めぐりやまちめぐりをしながら、水神さんやお稲荷さんに目をとめてみると懐かしい時間にてあえるかもしれません。皆さんもお出掛けになってみてはいかがでしょうか？



●「河合家」内(公開に向けて作業中)のお稲荷さん
(2004年3月修復)



小さな親切運動の参加者

ゴミゼロ作戦に参加

平成16年10月23日(土)、三島市と三島商工会議所主催のゴミゼロ作戦に、三島ゆうすい会から志村肇顧問、塚田冷子会長、越沼正理事、大村皖伸会員らが参加しました。

源兵衛川と御殿川では茶碗のカケラを拾う作業でした。今秋は楽寿園小浜池の水位は夏より上がる一方で当日は143cmでした。

源兵衛川の流は速く川の中に立っていると流されてしまいそうでした。また、ゴミを拾っても腕ごと持っていられそうで作業は難航しました。

この日は、市内のゴミを拾う作業をされた方もあり、市民300人が汗を流したということです。



△台風で倒れた木の幹(写真中央)

今後の催しのお知らせ

**第2回「水よ輝け」音楽祭
にお出掛けください♪**

富士山からの湧水溢れる水の都・三島のイメージソング「水よ輝け」は、市制50周年記念事業・(社)三島青年会議所30周年記念事業の一環として誕生しました。現在は三島市・三島商工会議所が中心となり推進している「街中がせせらぎ事業」のイメージソングとしても採用されています。

このすばらしい歌が末永く歌い継がれていくようにとの思いを込めて、今

年で2回目を迎える「水よ輝け音楽祭」を是非、お楽しみください!

* *

開催日 12月23日(木)

※天皇誕生日

会場 三島市民文化会館
大ホール

開演 午後1時: 入場無料

ゲスト 独唱 岡 範子
ギター 上遠野 忍

(カトウノ シノブ)

出演 男性コーラス

“夢鳴群”

女性コーラス

“桜ヶ丘コーラス同好会”

ア・カペラ

“スパイラルステップス”



**ななくさ・なずな
七草粥を食べに行こう!**

平成17年新春の催しとして、恒例になりました「七草粥を食べる集い」をおこないます。

三島ゆうすい会とふるさとの唄を楽しむ会の主催で、ゲストにコールロベリアを迎えての集いとなりますので、大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

☆ ☆

日時 平成17年1月7日(金)

11:30~13:00

会場 塚田神経科医院

(三島市泉町5-3)

参加費 無料



今後の予定

【定例活動(作業等)】

●源兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜13:00~

水の苑緑地・かわせみ橋集合

長靴、軍事またはビニーレ手袋持参

「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第1土曜10:00~

白滝公園集合

長靴、軍事またはビニール手袋持参

「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜10:00~

三島梅花藻の里集合

長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

★いずれの定例活動も自由参加です。

ふるってご参加ください!

★雨天時は源兵衛川・桜川清掃、三島

梅花藻の里作業は原則としてお休みで

す。

★定例活動等日程はホームページで

ご案内しています。

【その他の行事・お知らせなど】

ホームページの製作・更新、ニュースレター編集に協力して下さる方募集!事務局へご連絡ください。

会費・ご寄付・資機材支援

●会費ご入金

平成16年分会費の納入にご協力ありがとうございました。お納めくださった方のお名前は別紙の通りです。

会費を納入済みでお名前の記載がなかった方は事務局までご連絡ください。

(年会費金額)

・正会費 3,000円

・賛助会費1口 10,000円

(お振込み先)

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名: 三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

・三島借入金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名: 三島ゆうすい会

会長 塚田冷子